



## 観光農業公園グリーンファームで企画実施

### 地域連携事業

11月12日、太田ゼミは鹿児島市観光農業公園グリーンファームで、本学と鹿児島市との包括連携協定による活動の一環としてイベント「グリーンファームの文化祭」を行いました。

春から学生が提案した企画を進めていき、イベント前日から準備に取り掛かりました。会場の設営や、学生がそれぞれ自分たちのグループで実施する企画の道具などを用意し、実際に当日を想定した流れを確認しました。

当日は、グリーンファームの職員朝礼から学生も参加し、各グループごとに『コーンホールゲーム』やグリーンファームのキャラクターをあしらった『ふぁむじいポリング』などを運営しました。

急に気温が下がり、風もあるなど屋外の企画としてはやや難がありました。それなりに来客もあり、学生が販売する焼き芋も人気で、参加した人たちは色々な体験を楽しみました。

これまでは、既存のイベントに加わる形で実施していましたが、今回は先方側からの要望に対して学生が企画を考えるという課題解決型のフィールドワーク活動であり、新たな経験ができ学生たちにも良い学びとなりました。



また、来年度の打診というありがたい話もあり、準備やたびたびの訪問など大変なことも多くありましたが、学生にとって実りのある連携活動となりました。

## 霧島市立持松小学校との交流会

### 児童学科 千々岩ゼミ

千々岩ゼミ1期生から始まった持松小学校との交流活動が20回目まで続き、今回、最後の年を迎えました。

事前準備は、2か月程度の期間を要し、学習指導案の作成や披露する寸劇の練習など、ゼミ生たちにとって苦労も多くなりましたが、これまでゼミ活動の伝統として継承されてきました。この間、霧島市から2回も「善行賞」を受けるなど、小学校だけでなく地域の方々からも温かく受け入れていただきました。

今回の交流会当日も、模擬授業の実施、寸劇の披露など、ゼミ生たちには全力を尽くした様子が見られました。

小学校教諭を目指すゼミ生たちにとって複式学級を持つ小規模小学校でのフィールドワークは、得難い体験となりました。



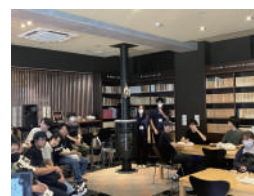
## 薩摩スチューデントの足跡をたどる

### 経済学科 西原ゼミ

西原ゼミは、7月22日に維新ふるさと館と薩摩英国留学生記念館を見学しました。

学生たちは、約150年前、薩英戦争によって英国の実力を思い知らされた薩摩藩の思いを追体験し、現代のサツマスチューデントになろうというプロジェクトのもと、英国への渡航の出発地である羽島を訪ねました。

サツマスチューデントの顕彰活動をしているれいめい羽島協議会会長の枇榔さんに話を伺い、長沢鼎、森有礼、村橋久成等々、薩摩の先輩たちの凄さに一同感嘆しました。



終わりに、若き薩摩の群像の前で、薩摩スチューデントの認知度を調べるアンケートをとりました。これからのゼミ活動に活かしていきます。



# 地域の子育てママと一緒に活動！

## 児童学科 福島ゼミ

福島ゼミは、鹿児島市内で季節のイベント飾りの製作や絵本の読み聞かせ、手遊びなどの活動をしています。

ゼミ生たちは、毎月その季節に合った活動内容を計画し、子どもたちと一緒に遊ぶうちに『親である』という大変さや不安さが伝わり、子どもだけでなく保護者の方々にも寄り添えるような保育者になりたいという意思をより強く持って勉学に励んでいます。



毎月の活動に参加してくれる子どもを見て「大きくなったね!」「言葉が話せるようになったんだね!」等、成長に共感し、各世帯がそれぞれで子育てするのではなく、『地域で子どもを育てていく』という考え方を持つことができました。

# 知的障害者支援施設との共同開発

## 経営学科 中西ゼミ



中西ゼミ2年生が知的障害者支援施設「サポートなごみ」と共同でソフトクッキー「シェアポップ」を共同開発しました。これは同ゼミが毎年実施しているイベント「インクルーシブ時代の商品開発ワークショップ」の取り組みで、知的障害者との交流を通して彼らの特性を捉え、彼らにとって作りやすくして継続的に売れる商品を開発します。

中西ゼミ生が販売促進の努力を重ねた結果、11月25日に天文館で開催された販売会でもたくさんお買い上げいただくことができました。



# 山ヶ野金山跡・永野金山跡でフィールドワーク

## 国際文化学科 大西ゼミ

11月11日、大西ゼミは「金山水車活用プロジェクト」の一環として山ヶ野金山跡・永野金山跡を訪れました。プロジェクトの目的は南九州市にある金山水車跡の活用を考えることですが、江戸時代から20世紀まで金が発掘され、関連する遺構や跡地が数多く残っているこの地を散策し、参考にできることを見出すのが、今回のフィールドワークの目標です。

永野金山跡周辺を散策し、鉄橋橋脚付近で地元の方から話を伺うことができました。永野金山が稼働していた当時の資料を用いて説明していただき、製錬所がどのような理由で作られ、どのような役目を果たしていたのかも教えていただきました。

山ヶ野金山跡の散策では、実際に使われていたと思われる水車を間近に見ることができ、金が採掘されていた当時のことを実感しました。



事前に学習したり自分たちでルートを作成し散策すると楽しく、また興味を持てることに気づきました。今回の経験を活かし、金山水車跡の活用について考えていきます。

(国際文化学科3年 辻 真実子)

# 市立図書館と連携したボランティア活動

## 国際文化学科 岩下ゼミ

岩下ゼミは、図書館学のゼミという特性を活かして鹿児島市立図書館と連携したボランティア活動を行っており、今年で4年目を迎えています。

活動内容は、図書のテーマ展示や季節感を活かした毎月の広報活動にパスファインダー作成など様々です。学生の若い視点による広報活動は市立図書館の評議員会でも報告され、高い評価を得ています。特に子どもたちを対象とした「キッズフェスタ」では、企画運営から参加し、豆本と折り紙を盛り込んだイベントに取り組みました。多くの親子連れが参加し、ゼミ生たちも折り紙の手伝いをするなど大活躍でした。

また小中高の学校図書館と連携して天文館図書館で開催された「読書郵便」の企画展示にも初参加し、ゼミ生たちは公共図書館での活動を通して多くの学びを培っていきたくと意気込んでいます。

